

発熱・下痢・おう吐・発疹の見分け方

症状はあくまで目安です。かかりつけ医に相談しましょう。

症状と手当て	すぐに医療機関で受診	診察時間内に受診
熱が出た ●水分補給に努め、汗をかいたら着替えましょう。 ●室温が高すぎたり、厚着をしていませんか？ 	●生後6か月未満。 ●ひどく機嫌が悪い。 ●ぐったりしている。 ●苦しそう。 ●けいれんが5分以上続いた。 ●けいれんのあと、意識が戻らない。	●37～38℃くらいの熱。 ●下痢や嘔吐がある。 ●発疹が出た。 ●鼻水・鼻づまり・せきがある。 ●食欲がない。 ●2日経っても熱が下がらない。 ●夜中に突然激しく泣き出し、耳をさわる。
下痢をしている ●おむつが汚れたらすぐに取り替え、水分補給をしましょう。 ●湯冷まし、お茶などを与えて脱水症状などを防ぎましょう。 ●市販の下痢止めを勝手に使わず、お医者さんの診察を受けましょう。	●おしっこの量が少なくなる。 ●くちびるが乾いている。 ●ぐったりしている。 ●便に血が混じる。 	●水様便を1日何回も繰り返し、量も多い。 ●発熱やおう吐を伴う。 ●薬を服用している。 ●3日以上経つがよくなるらない。
吐いた ●水分を補給し、脱水に気を付けましょう。 	●ひどく機嫌が悪い。 ●高熱がある。 ●おしっこの量が少ない。 ●くちびるが乾いている。 ●ぐったりしている。 ●激しく泣く。 ●吐いたものが黄緑色。 ●おなかにしこりがある。	●生後2か月未満で授乳のたびに噴水のように吐く。 ●体重が増えない。 ●発熱や下痢を伴う。 ●せきとともに、吐く。 ●2歳以上で激しいおう吐を繰り返す。
発疹が出た ●発疹を触ったりひっかいたりせず、症状がなくなってきたても、医師の許可が出るまで治療を続けましょう。		●熱がある。 ●1週間以内にかぜのような症状があった。 ●熱が下がると同時に発疹が出た。 ●かゆみがあり、やがて水疱になった。 ●首や耳の後ろのリンパ節が腫れている。 ●のどが痛い。 ●白目の充血やくちびるの発赤がある。 ●手のひら、足の裏、ひざ、おしり、口の中に水疱がある。 ●2歳以上で両側の頬に蝶型の赤斑がある。

今、診てもらえる医療機関を探せます！

医療情報ネット



小児救急電話相談連絡先

短縮ダイヤル # 8000 または 077-524-7856



子どもの発達と起こりやすい事故について

	5 か月	6 か月	7 か月	8 か月	9 か月	10 か月	11 か月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳
発達の 目安	離乳食がはじまる	寝返りをうつ	一人座り	ハイハイをする 指で物をつまむ		つかまり立ち		一人歩き・走る	階段を昇り降りする その場でジャンプする 高いところへ登れる		
窒息・ 誤飲	就寝時の窒息事故 うつぶせ寝による事故、ぬいぐるみやスタイでの窒息 食事中に食べ物で窒息 小さなおもちゃでの窒息 ボタン電池、吸水ボール、磁石などの誤飲 医薬品、洗剤、化粧品などの誤飲 包装フィルム、シールなどの誤飲 ブラインドやカーテンのひもなどによる窒息										
水回りの 事故	入浴時に溺れる 浴槽に転落して溺れる 洗濯機・バケツ・洗面器による事故 プールでの事故 海・川やため池、用水路、排水溝等での事故										
やけど	ダイニングテーブルの上にあるお茶、お味噌汁、カップ麺でのやけど 電気ケトル、炊飯器でのやけど 暖房機や加温器でのやけど										
転落・ 転倒	ベビーベッドやオムツ替え台からの転落 抱っこ紐からの転落 ベビーカーからの転落 椅子やテーブルからの転落 階段からの転落 ベランダや窓などからの転落・遊具からの転落										
車の事故	チャイルドシート未使用による事故 車内での熱中症 車のドアやパワーウィンドウに挟まれる事故 自転車での事故 道路上での事故										

誤飲・窒息

赤ちゃんの事故死のうち、約 80% が窒息死によるものだと言われています。小さな玩具、電池などの誤飲、吐いたものが詰まるなどが原因です。また、たばこ・洗剤など口を含むだけで危険な物も多くあります。

- ☐ テーブルの上に、硬貨やたばこ、灰皿、ボタン電池など誤飲しそうなものはありませんか？
- ☐ 洗剤や化粧品など誤飲しそうなものが手の届くところにありますか？
- ☐ パズルやビーズなど、きょうだいの玩具が部屋に広がっていませんか？

車の事故

抱っこでの乗車は危険です。短時間でも、車や自転車でお出かけの際は、チャイルドシートを使用しましょう。また、子どもだけで車内に残しておく、熱中症になり、死に至ることもあります。自分で歩けるようになったら、手をつなぎ、目を離さないようにしましょう。

- ☐ チャイルドシートを正しく使えていますか？
- ☐ 車内で眠っている子どもを置いて、買い物に行っていないですか？
- ☐ 車のドアや窓を閉める際、子どもの手や顔は出ていませんか？
- ☐ 自転車に乗せる際はヘルメットをかぶっていますか？

水回りの事故

小さい子どもはたった数センチの水でも溺れてしまうことがあります。

- ☐ 浴槽や使用後の洗濯機、洗面器等に水を溜めたままにしていますか？
- ☐ 洗濯機にはチャイルドロックがかかっていますか？
- ☐ 海や川で遊ぶときはライフジャケットを着用していますか？

転落・転倒

ソファで寝かせたり、ベッドの柵をさげたままにしていると、赤ちゃんが転落してしまう可能性があります。

- ☐ 玄関の段差は危険な高さではありませんか？
- ☐ 階段には入れないようにしていますか？
- ☐ ベランダや窓の近くに、よじ登れる場所はありませんか？

やけど

興味があるものは何でもさわってしまうものです。

- ☐ アイロンやストーブなどのやけどしそうな物が手の届くところにありませんか？
- ☐ 高温の飲み物や汁物は、子どもの手が届かないところにありませんか？
- ☐ 電気毛布やカイロなどを長時間同じ部位に使用していませんか？

その他の事故等

指はさみや打撲はどこでもあり得る事故です。

- ☐ 引き戸など手をはさみそうな場所の安全対策はできていますか？
- ☐ ベビーカーや家具などの可動部にも注意して確認していますか？